令和７年度　自己評価及び学校関係者評価書

令和８年３月10日
札幌市立東月寒中学校

1　学校教育目標

「たくましい力と英知をもった実践力のある人間の育成」
■ 高き理想　　■ つよきからだ　　■ 純なこころ

2　経営方針

「東月で学んで良かった」と実感できる学校づくり

3　学校経営の重点

（1）連帯と協働からやりがいを生む職場づくり
（2）学習習慣の確立と「主体的・対話的で深い学び」の充実
（3）健康で充実した生活を送ろうとする態度や実践力を養うための健康教育の充実
（4）豊かな感性と思いやりの心をもった心豊かな生徒の育成
（5）共に心豊かに学ぶ生徒を育てる特別支援教育の推進
（6）保護者・地域から信頼される学校の創造

4　自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
生徒理解など	①日常的な生徒支援や教育相談に関すること	A	ア）教育相談期間のみならず、日常的な場面での生徒理解のアンテナを高めるよう努力する。そのために、いつでも教職員が生徒の活動場所に一緒にいて、見守り、触れ合う取組を次年度以降も継続していく。 イ）集団の中でそれぞれの生徒が活躍できる場面を積極的かつ計画的に作り出す。特に、生徒行事では、企画から運営を生徒自身に考えさせるように意識し、自治的な活動となるように取り組む。 ウ）[ア]の取組を行うことは、多様な個を理解するうえでも大変重要であると考える。また、保護者との連携をはかり共通理解を図った上での生徒支援となるよう取り組む。 エ）日頃から安心して楽しく過ごせる学校（学級・学年集団）づくりをしいていくことが、いじめ防止や早期発見の土台となる。そのために、[ア][イ][ウ]のような取組を充実させる。	A	A
	②生徒が活きる場面づくりに関すること	A			
	③多様な個によりそった支援に関すること	A			
	④いじめ防止や早期解決に関すること	A			
学習について	⑤「わかる・できる・楽しい授業づくり」に関すること	A	オ）教員自身が教材研究に努め、主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくりを推進する。 カ）学習課題が生徒の実態に合っているかをしっかりと検討することが個に応じた学習指導へとつながる。そのため、指導と評価の一体化を推進し、学習評価を指導に活かすサイクルを作り出せるよう努力する。また、生徒が自らの学習を振り返る取組を充実させ、自ら向上心をもって学びに向かう取組をサポートしていく。 キ）学校として学習評価に対する研修をすすめ、「透明性、妥当性、客観性のある評価」となるよう努める。 ク）生徒の学校での学習活動を適切に保護者に伝えることで、家庭での生徒の学習支援を促進したい。そのために、授業参観を含めた保護者公開時間の設定充実と、そのアナウンス強化を図る。	A	A
	⑥個に応じた学習指導に関すること	B			
	⑦適切な評価に関すること	A			

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
生活について	⑧あいさつに関すること	A	ケ）あいさつ指導の基本は率先垂範であると考えるので、今後も率先垂範の意識をもって、教職員同士はもちろん、教職員から生徒へあいさつすることを継続していく。また、生徒会活動で行っているあいさつ運動の取組を継続する。 コ）日頃の学校生活の中で継続的かつ丁寧に規範意識を高める指導を続けていく。また、生徒会活動で取り組んでいるボランティア活動は公共心や公徳心を養う一助となっているので継続したい。 サ）生徒理解の項目の[ア]の取組で生徒理解を深めることは、生活指導についても同様である。引き続き日常での生徒の変化に気付き、適切で丁寧な指導を心がけながら支援を行っていく。 シ）食育や健康については、給食だよりや保健だよりを通じて発信し続けている。令和７年度は、性についての講演会を実施して心身の健康について生徒自身に考えさせたり、給食時間に和食についての動画放送を行い、食文化についての理解を深める取組をしたりする取り組みを行ったが、こういった取り組みを継続していく。	A	A
	⑨規範意識、公共心･公徳心に関すること	A			
	⑩個に応じたきめ細かな指導に関すること	A			
	⑪食育・健康に関すること	A			
保護者・地域連携	⑫開かれた学校づくりに関すること	A	ス）学校だより、ホームページ、すぐーるなどの各種ツールを活用して情報発信を充実させる取組を続ける。特に直接保護者に伝わりやすい方法は、すぐーるによる発信であるので、学校だより以外の各種たよりもすぐーる配信するなどの工夫を試みる。 セ）次年度は、コミュニティースクールの取組がスタートするため、学校運営協議会などの組織と協力して、より良い地域連携や情報発信について検討していく。	A	A
	⑬保護者や地域との連携に関すること	B			
学校経営	⑭学校経営方針 「東月で学んで良かった」と実感できる学校づくり	A	ソ）「東月で学んで良かった」のスローガンを具現化できるように、生徒の声を聴く教育活動を引き続き充実させる。	A	A

5　次年度、重点的に取り組む項目

⑥：個に応じた学習指導に関すること・・・・・・改善の方策[カ][キ][ク]
⑬：保護者や地域との連携に関すること・・・・・改善の方策[ス][セ]

6　学校関係者評価委員会による意見

＜生徒理解などについて＞
・いじめ対応については、隠れた問題がないか危機意識をもって取り組むべきである。また、予防や早期解決のためにどのような取組を行っているのかを、生徒・保護者や地域に伝わるように情報発信し、安心感につなげてもらいたい。

＜学習について＞
・生徒の取組の良い部分を適切に見取る学習評価となるよう、授業での課題設定や指導内容を見直すことを要望する。生徒の学ぶ意欲につながるように、全教職員で取り組んでもらいたい。

＜生活について＞
・本校のあいさつに関する取組は、誇ることができるすばらしい部分である。この取組を続けるとともに、ぜひ、その良い部分を発信してもらいたい。

＜保護者・地域連携について＞
・地域として学校を応援している。その応援の輪が地域住民や保護者などに広がる取組ができると良い。

＜学校経営について＞
・札幌市が推進する社会的・経済的な取組が、今後、人材育成の部分でも重点化されて、本校の特色ある教育活動へとつながっていくことを期待する。